

# ママ、放射能ってなあに？

## 子どもを被ばくから守るには

2011年3月11日の地震・津波と同時に発生した福島第一原発事故によって「放射能」の危険が身近なものになってしまいました。ここ大田区を含めた首都圏も決して例外ではありません。原発事故が収束するまで日々放射能が拡散しているという今までにない初めての事態。特に放射能に対して敏感な子どもたちの健康を守るためには保護者一人ひとりが正しい知識を身につけることが必要です。

この度、日本における医療被ばくで健康影響についての知識を広めてきた高木学校より講師をお招きし、東京の日常生活で子どもを守るためのお話しを伺います。



### 話し手 高木学校講師

高木学校とは？

故高木仁三郎氏により1998年にスタート。市民の立場から環境、核、人権などの問題に取り組む「市民科学者」を育成してきました。福島第一原発事故によって、新たな様相を見せている日本の被ばくに対し、被ばく最小化のための情報発信や被害者支援の活動を始めています。

講演内容（予定）

- ・放射能放射線とは何か？放射線の基礎知識
- ・放射線はなぜ怖い？放射線の生物影響
- ・放射能汚染（環境・食物）と対策

日時 7月23日(土) 14:00~16:00

参加費 無料（多くの方のご参加をお待ちしております！）

場所 消費者生活センター（2F 大集会室 授乳、おむつ替え等にご利用できる  
お部屋を別途ご用意しております。）

大田区蒲田五丁目13番26号の101

JR 蒲田駅東口から徒歩5分（大田区役所前から川崎方向に約300メートル）

主催：放射能の影響から子どもの健康を守る会

放射能の影響から子どもの健康を守るため、みんなの声として大田区へ向けて署名活動をしたお父さんお母さんの集まり。約3000人の署名が集まりました。ありがとうございました。 お問い合わせ oota\_kodomo@mail.goo.ne.jp